

## ◆ 平成26年度活動報告シート ◆

団体名：NPO 法人 いろいろ生きもの埼玉

代表者：代表理事 脇坂 純一

URL : <https://sites.google.com/site/saitamainenet/>

### 1. 活動が必要とされた状況

- ① 埼玉県の外来植物の状況把握と情報共有：外来植物の埼玉県内における発生状況は十分分っていない。また、一部の環境保全団により駆除が行われているが、十分な成果は上がっていない。
- ② さいたま緑の森博物館における森林整備活動及び自然環境の普及啓発：貴重な里山である狭山丘陵の保全のために森林整備活動を行う団体が極めて少数である。

### 2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）



- ①・26/7に、アンケートを作成して約180の環境団体に依頼し、23団体から回答を得て集計、分析した。
  - ・27/2にアンケート報告書を印刷し、広く公開している。
  - ・27/2/14に第1回生きものフォーラムを70人の参加者を得て開催し、アンケート結果についても報告した。
  - ・27/1/25に自らモデルとなるべく、特定外来生物オオフサモの除去活動を原市沼川で23人の参加者を得て実施した。

- ② さいたま緑の森博物館における森林整備活動及び自然環境の普及啓発
  - ・26/5/31に第1回活動（5名参加）安全講習、刈払機の使い方講習、森林保全作業
  - ・26/11/8に第2回活動（9名参加）活動区域の境界の刈払を実施
  - ・26/12/13に第3回活動（11名参加）常緑広葉樹の除伐を実施
  - ・27/3/15に第4回保全活動予定（20名定員）コマうち、下草刈りを予定



### 3. 活動の成果

- ・県全体の調査ではないものの、アンケート結果から外来種の状況がかなりわかった。
- ・活動団体が取り組んでいる具体的な活動内容や課題などが明らかになった。
- ・自らオオフサモの除去活動を実施し、具体的な方策、課題などが明らかになった。
- ・上記の結果をフォーラムを通じて情報発信し、普及拡大の端緒とした。
- ・緑の森博物館の当団体管理地（0.9ha）の森林整備がある程度進んだ。

### 4. 今後に残された課題

- ・今回のアンケート調査により判明した外来植物の実態から具体的な対策を促進するには、調査の進化が必要。また、着手した原市沼川のオオフサモ除去活動を継続する必要がある。更には生物多様性の取組を拡大・促進するための情報発信が必要である。
- ・除去活動や森林整備活動の新人の勧誘はかなり難しいことがわかったので、継続的な働きかけを行うとともに、他の組織との一層のネットワーク化が必要である。